



**Data**

監督：リック・ローマン・ウォー  
 出演：ジェラルド・バトラー／モリ  
 ーナ・バッカリン／ロジャ  
 ー・デイル・フロイド／スコ  
 ット・グレン／デヴィッド・  
 デンマン／ホープ・デイヴィ  
 ス／アンドリュー・パチェラ  
 ー／メリン・ダンジー／ゲイ  
 リー・ウィークス／トレイシ  
 ー・ボナー／クリア・ブロン  
 ソン／マディソン・ジョンソ  
 ン／ランダル・ゴンザレス

## 👁️👁️ みどころ

彗星が地球に大接近！それは世紀の天体ショーのはずだった……。そんな設定は、『旧約聖書』の「ノアの箱舟」と対比しながら見ると、メチャ面白い。しかして、生き残りをかけて選抜されたのはどんな人？

本作はそれが全くわからないまま、妻子を守るためトコトン生き残ろうと頑張る主人公が大活躍！『エンド・オブ・ホワイトハウス』（13年）で大統領を守るべく頑張ったジェラルド・バトラー主演だから役柄はピッタリだが、本作に見る、彼の「公と私」は？

大阪のおばちゃんの厚かましさは有名だし、飛行機内でマスク着用を断固拒否した男の言い分も一理ある。しかし、本作に見る主人公たちの言い分はハチャメチャでは？無事に避難シェルターに入り込めたことには拍手！しかして、人類の生き残りは？彼らはノアと同じ善良な市民なの？

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

### ■□■この主人公がなぜ、どんな基準で避難組に選抜？■□■

望遠鏡による天体観測は楽しいし、何年か毎に訪れる「皆既日食」等の天体ショーもじっくり鑑賞すれば、それなりに楽しいもの。しかし、「彗星「クラーク」地球大接近—それは世紀の天体ショーのはずだった……」、**「徹底したリアリティと最新VFXが生んだ—地球最後の2日間の映像黙示録」**は、ちょっとしんどい！？それが本作だ。そして、本作が設定するテーマは、「世界が確実に48時間で終わるとき、あなたは何をしますか？」というものだが……。

妻子（と言っても、少し曰く因縁がある）を守る本作の主人公は、『エンド・オブ・ホワイトハウス』（13年）（『シネマ31』156頁）、『エンド・オブ・ステイツ』（19年）（『シネマ46』388頁）のシリーズや、『ハンターキラー 潜航せよ』（18年）（『シネマ4

5』70頁)等でのタフなヒーローぶりが板についているジェラルド・バトラード。

冒頭、高層ビル建設の現場でリーダー役の建築技師として働くジョンを演じるジェラルド・バトラードの姿が登場するが、この男がなぜ、どんな基準で避難組(生き残り組)に選抜されたの? チラシには「建築技師の能力を見込まれた」と書かれているが、それって少し変なのでは?

## ■□■この危機を、この論点をどう受け止める?■□■

本作導入部を見れば、ジョンと妻のアリソン(モリーナ・バッカリン)との間に、離婚に伴う親権と財産分与、慰謝料の問題があったことがわかる。しかし、それは過去のことで、今の緊急の問題は自宅(今は妻が子供と同居)で開かれていたパーティーの席で、ジョン(だけ)のケータイに入ってきた陸軍からの非常通知メール。そこには、①地球崩壊の危機が48時間後に迫る中、ジョンが妻子とともにシェルターに避難できる人間に選ばれたこと、②荷物は1つだけで、ある期限までに、某空軍基地に集合すること、が記載されていたから、さあ、彼はどうするの?

『旧約聖書』にある「ノアの箱舟」では、神を無視して放蕩にふける人間が多発する中、全知全能の神はノアとその家族だけを生き残らせる善良な人間として選んだが、本作の設定は一体ナニ? 全知全能の神なら何でもありだが、米国合衆国政府は一体どんな基準でジョンを選んだの? 小松左京の『日本沈没』(73年)は今なお語り継がれる名著だし、映画もメチャ面白かったが、それは一見荒唐無稽なストーリーながら、実は日本沈没のストーリーが実は相当な説得力を持っていたためだ。ちなみに、『日本以外全部沈没』(06年)(『シネマ11』58頁)も一見ギャグ映画のようだったが、説得力は十分でメチャ面白かった。しかし、本作は? 48時間後に迫る地球滅亡の危機を、そしてまた、本作の設定をどう受け止めればよいの?

## ■□■ジョンたちの行動に見る、公と私は?■□■

司馬遼太郎は、1996年2月12日付産経新聞のコラム「風塵抄」で、「土地を無用にさわるのがいかに悪であったかを国民の一人一人が感じねばならない。でなければ、日本国に明日はない」と書き、その言葉が彼の事実上の「遺言」になった。この言葉からわかるとおり、司馬遼太郎の晩年の著作のテーマは「公と私」だった。しかして本作のジョンとアリソンに見る「公と私」は?

まず、最初にジョンがパーティーの席を抜け出すについて、なぜジョンとその家族だけが選抜されたの? 車で空港に向かう時、「お願いだから私を連れて行って!」、「私が無理なら、せめて子供だけでも!」と近所の人から懇願されるシークエンスが登場する。続いて空港内では選抜された人間だけを空港に入れるための混乱ぶりが描かれる。手術をする時などに腕にはめるリストバンドをつけているか否かで生き残れるか否かの選別がスムーズにできるはずはないから、本作の設定は、その点いかにも杜撰。さらに、本作では、何と糖尿病の治療のためインシュリンを欠かすことができない一人息子のネイサン(ロジャ

ー・デール・フロイド)が、その薬を車に残してきたというトラブルを描いていく。そこでの、ジョンが薬のために再度飛行機内から車に戻るという設定がナンセンスなら、メールで連絡を取り合いながら飛行機内で落ち合おうと約束を交わす設定も全くナンセンス。お前たちは、この非常事態をどう考えているの？

## ■□■中盤のハラハラ・ドキドキもあまりにあまり！■□■

日本では、「ワクチン狂騒曲」が鳴り響く中、「スギホールディングス」の杉浦広一会長が、新型コロナウイルスのワクチン接種の予約枠を優先的に確保していた問題が発生。「文春砲」が炸裂した。6月6日に私は1回目のワクチン注射を完了できたが、ワクチンの優先権を巡るそんなトラブルの発生は、日本が「ワクチン敗戦国」になってしまったためだ。それを考えれば、今ジョンが受け取ったアメリカ合衆国政府からのメールは、ワクチン接種券よりも何万倍も価値のある優先枠。それを使って、ジョン夫妻と親子は多くの近所の人を置き去りにし、さらに空港に押しかけている何万人の人を置き去りにして、自分たちだけが飛行機内に乗り込んだわけだ。

ところが、あえてジョンが薬を取るために車に戻ることにしたため、本作中盤では離れ離れになった(自ら離れていった)ジョン夫妻・親子が、再びアリソンの父親デイル(スコット・グレン)の家で再会するまでのハラハラ・ドキドキのストーリーを描いていく。しかし、このハラハラ・ドキドキのストーリーを見ていると、そこでもジョンたちの「公と私」のハチャメチャぶりが顕著だ。あんな大混乱の中で「ネイサンを見ませんでしたか?」、「私たちはリストバンドを持っている!」といくら大声をあげても通用しないことは当然。更に、自分たちの立場ばかり声高に主張しているジョンたちの姿を見ていると、飛行機内で頑なにマスク着用を拒否した「あの男」を思わず連想することに。

本作中盤には、極端な善人と極端な悪人が次々と登場し、ハラハラ・ドキドキの極端な物語を展開していくので、それに注目!しかし、よくぞまあこんなハチャメチャな脚本で本作の企画が通ったものだ。

## ■□■一路カナダの空港へ!更に空港からシェルターへ!■□■

しかして、本作ラストのハイライトは、極端な悪人との戦いに何とか勝利し、アリソンの父親デイルの家で家族3人の再会ができたジョンが、次に「極端な善人」の言葉に従って、更に無茶な行動に走っていくストーリーになる。それが、第1にカナダの空港までの車での旅、第2にカナダの空港からグリーンランドにある大規模避難シェルターへの飛行(逃避行)だが、なぜそんなことがジョンにできるの?そもそも道路自体が分断されてしまっているのでは?

そう思っていると、何とかカナダの空港に辿り着いたジョンは、満杯の客を乗せて今まさに離陸しようとする飛行機の前に正面衝突覚悟で自分の車を進入させたからビックリ!正面衝突を避けるため飛行機は停止せざるを得なかったが、そこでジョンは「俺たちを乗せる」、「重量オーバーだから無理だ」、「いや、それでも乗せる」、「乗せなければ車をどけ

ないぞ」と主張したが、これぞまさに大阪流（？）のヤクザの論理では？自分と家族を守るためなら、何をしてもいいの？ジョンは自分の体重についても嘘をついていたから、もし重量オーバーで飛行機が飛び立てなければ一体どうなるの？こりゃ、まさに、ハチャメチャ！

## ■□■シェルターの効用は？世界はどうなったの？■□■

ジョンたちが住んでいたフロリダ州タンパに落下した隕石は野球場サイズ。その第一波は2400kmの範囲で灼熱の衝撃波を巻き起こし、たちまち40万人が焼失したそうだ。本作はそんな設定だから、まさに地球最期の2日間だ。そんな事態になれば、明智光秀の謀反で本能寺に籠った織田信長が、最後に「是非もなし」と語ったように、私も「是非もなし」と言いながら、自宅もしくはオフィスに籠るしかない。しかし、生き残りをかけて選抜されたジョンは、彼なりのベストを尽くして行動することに。その結果、ストーリー上、脚本上では、ジョンとその妻子はギリギリセーフで巨大なシェルターに入ることができたが、そんな彼の行動は誉められるもの？それとも、織田信長の心境には到底至らない、意味のない最後のあがき？そして今、客観的にはシェルターのすぐ近くに巨大な隕石が落下するそうだが、このシェルターはその衝撃に耐えることができるの？

このように、本作は、中盤のハラハラ・ドキドキの逃避行にほとんどのポイントを置いている。したがってその分、導入部での、ジョン一家がなぜ選抜されたのかについての説明不足（説明ゼロ？）が目立っている。その上、ラストのシェルター生活の実態も説明ゼロだ。東京、大阪でのワクチン大規模接種会場をどこにするかについては、自ずから合理的な場所が選定されたのと同じように、地球滅亡の危機の中、避難シェルターがグリーンランドの地に設置されていることには納得。しかし、その収容人数のMAXや収容期限は？本作ではそんな肝心な点（実務的な点）が全く説明されないまま、ある日シェルターの扉を開けてみると？本作ラストの少しあっけない結末は、あなた自身の目でしっかりと！

「ノアの箱舟」では、神は40日間雨を降らせ続けたが、本作におけるシェルターでの我慢の限界は何日？そして、扉を開けた後の地球は？ハッピーエンドは映画としては仕方なしとしても、本作の描き方は如何なもの？

2021（令和3）年6月9日記